

平成30年度

国有林モニターアンケート調査結果
(第2回)



愛知森林管理事務所管内でシカ防護柵の説明を聞く国有林モニター(H30.10)

平成31年4月

中部森林管理局

はじめに

国有林モニター制度は、より多くの国民の皆様身近な存在として国有林を感じていただけるよう、広く一般から対象者を募っております。2年間の任期中、国有林野事業についての理解を深めていただくと同時に、皆様から幅広いご意見等をいただくことで、「開かれた国有林」にふさわしい管理経営を推進することを目的としています。

この度、「平成30年度第2回国有林モニターアンケート」を実施し、全員の方から回答をいただきましたので、その結果について取りまとめました。

今回アンケートに御協力いただきました国有林モニターの皆様に、厚く御礼申し上げますと共に、いただいた御意見や御提案については、当該部署に知らせて改善に努めて参ります。

◎国有林モニターの構成

平成30年度・令和元年度は、30名の方に国有林モニターとなっていただいております。

(1) 性別

男性	21人
女性	9人
計	30人

(2) 年齢

	男性	女性
30～40才	1人	2人
40～50才	4人	3人
51～60才	3人	2人
61～70才	9人	2人
71才～	4人	
計	21人	9人

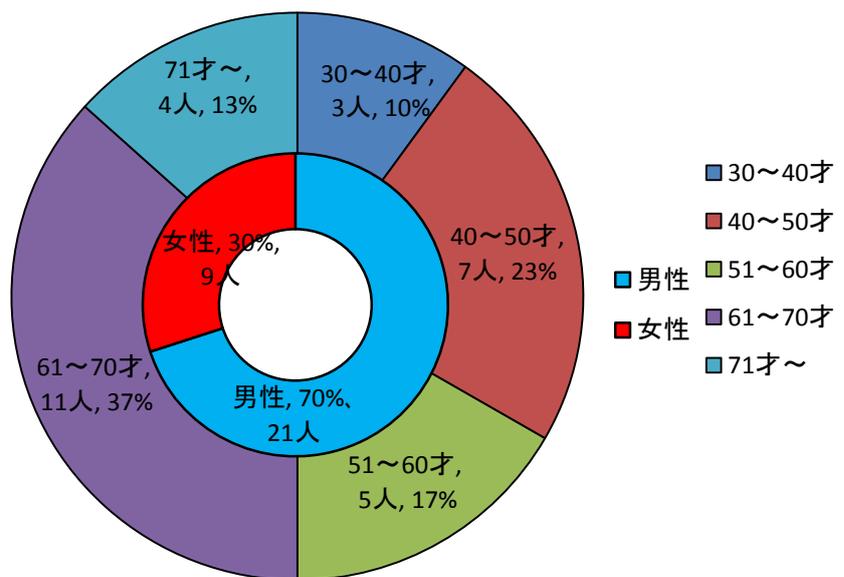
(3) 職業

会社員	6人
公務員	2人
施設職員	1人
自営業	5人
主婦	2人
その他	6人
無職	8人
計	30人

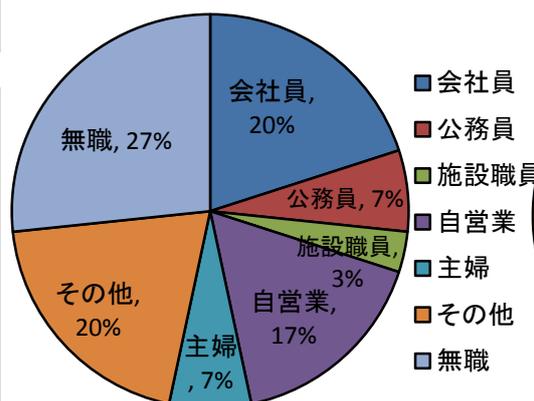
(4) 森林管理署等

富山	2人
北信	3人
中信	6人
東信	3人
飛騨	3人
岐阜	3人
東濃	4人
愛知	6人
計	30人

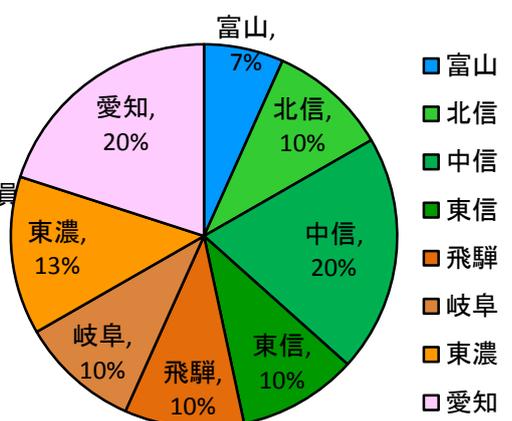
(性別・年齢)



(職業)



(住所の所在する森林管理署等)



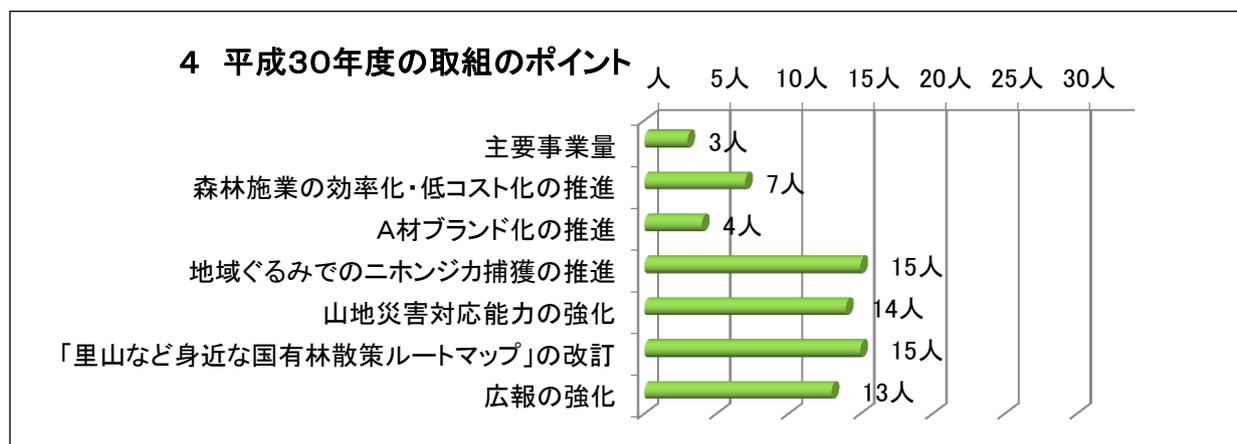
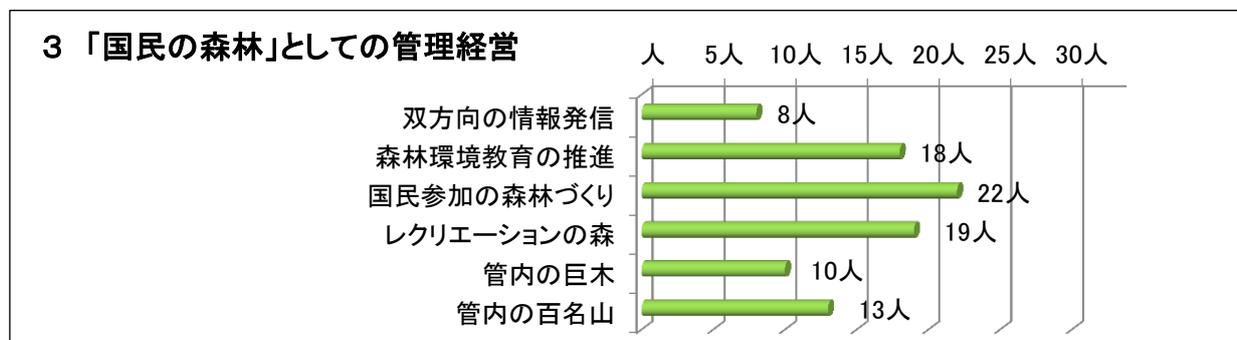
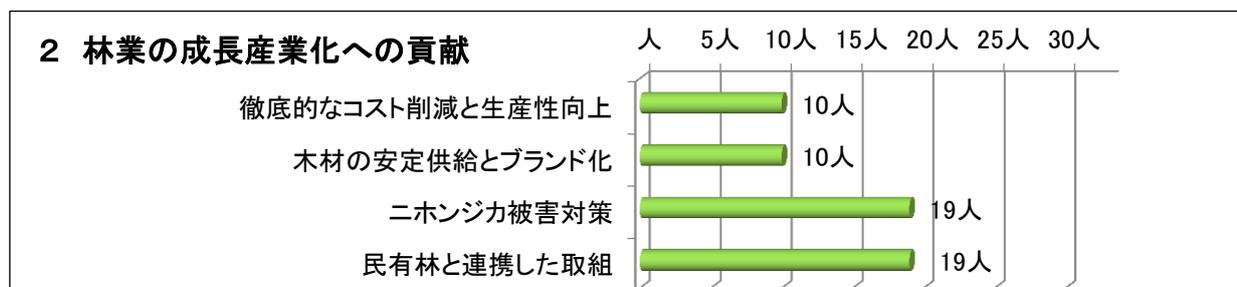
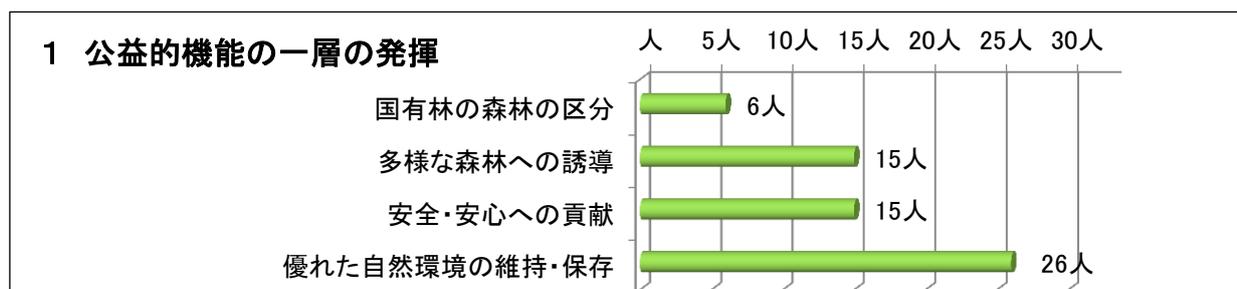
平成30年度国有林モニターアンケート(第2回) 集計結果

本アンケートでは、1年間、国有林モニターとなって学び感じていただいた中部森林管理局の取組について伺いました。

*「平成30年度中部森林管理局の取組」は、中部森林管理局ホームページ(ホーム>森林管理局の仕事>事業の概要)に掲載されています。

1. 平成30年度中部森林管理局の取組について

問1 現在、関心のある取組(該当するもの全てに○)



問2 取組が不十分と感じるもの(記述)

1 公益的機能の一層の発揮

○「国有林の森林の区分」

- ・ 取組の内容が、理解できません。「国有林の森林の区分」とは一体何なのか。まずはこれらのことを国民の誰もが理解できるようにする必要があるのではないかと感じます。

○「多様な森林への誘導」「安全・安心への貢献」

- ・ それぞれ良い取り組みがなされている例について分かりやすく紹介されています。その背後には、水や空気・生態系への願いが込められています。この2点の合わさった内容の試行・研究、広報、啓発に期待します。

○「安全・安心への貢献」「山地災害対応能力の強化」「民有林と連携した取組」

- ・ 中部管内に限らず、震災、豪雨等に拠る崩落、河川災害が増加していますが、豪雨などに拠る二次災害(例えば流木に拠る河川氾濫、民有放置山林に起因する山地崩壊など)は民有林の荒廃と環境破壊に起因する部分が多いと感じています。山林所有者が不明、零細など理由は多々あると思いますが、その事実が災害対策の遅れに繋がっているとも思っています。民有林所有者への管理指導の加速と共に、所有者不明の山林等に関しては民法で認められている様に国有化する等、意欲ある林業経営者、市町村等への委託管理経営の加速が必要と思っています。
- ・ 管理局の取組不十分というより、一般国民やマスコミの見る目の変化が大きいと思います。災害の深刻化と相まって、「森林の管理のお粗末さが災害を大きくする」的論調が巾を効かすように益々なっていくと思うので、そういう心無い批判も含めた「世間の目」にも耐えうる取組が益々必要となってくると思います。そういった意味で取り組みの絶え間ないブラッシュアップが求められます。

○「優れた自然環境の維持・保存」

- ・ 各森林計画区の中でどの部分が保護林か緑の回廊かがよくわからないことと、どのように保護し、管理しているのかよくわかりません。また、一般の人たちがそこへ行くことができるのかを含め、案内をすることが必要と思われる。

2 林業の成長産業化への貢献

○「木材の安定供給とブランド化」

- ・ 林業については、あまりまだ使われていないような気がします。国産の木材をもっと使うような取り組みを、他の省庁とも組んで進めるのはどうかと思います。住宅エコポイントがありますが、そのような制度をもっと活用するのはどうかと思いました。

○「ニホンジカ被害対策」「地域ぐるみでのニホンジカ捕獲の推進」

- ・ もう少しくわしく知りたいです。
- ・ 林野庁自体が熱心に取り組んでいることは十分理解していますがまだまだ国民に対する啓蒙は不足していると思います。動物擁護思想が優先することに負けている、立ち向かっていないと思います。被害が擁護思想を乗り越えるようなキャンペーンを展開して欲しいです。
- ・ 10月30日段戸国有林視察時、シカ害対策について3種類の防護柵の説明を頂きました。その後のアンケートに防護柵は恒久対策で無く対応策である、発想を変え、ジビエ料理店への安定供給に拠ってシカ肉の需要を増やせないかと記載させて頂きましたが、3月28日長野市において3億5400万(内国庫補助1億2千万)を投じ、ニホンジカ、イノシシのジビエ加工施設竣工との記事がありました。勉強不足の為、管理局、県林務部、長野市の役割区分は解りませんが、ニホンジカ食害

に関しては九州、四国、関東、東北の各森林管理局発行の公報でも問題視されています。環境破壊と生態系への影響を考えれば今回の長野市の加工施設竣工は問題解決へのチャレンジでも有り、大きな一歩ではないかと捉えています。

- ・ 今後増々ふえていくニホンジカ(カモシカやイノシシ、さるも含めて)。これらに対する対策をしっかりとやっておかないと、たいへんなことになってしまうと思います。人間の数は減っていくのですから、国全体として、考えていかないといけない問題であると思います。

- ・ シカ被害対策はいろいろ手段を考えて、また実施されていると思われませんが、なかなか“決め手”がないように思われます。林業関係だけではなく、広く農業、その他の方面からも、対策のアイデアを募ってみてはどうでしょうか。

- ・ 管理局だけの取り組みでなんとかなるというものではないと思います。しかし、各方面との連帯を更に深めていってもらいたいです。ただ、情緒的な「ジビエ地域おこし」の働きや「殺処分反対」に流されないことが大切だと思います。現状ある程度の殺処分を是としながら、積極的生産数管理をすることは、現実的に必要だと思います。

- ・ 行政単位で駆除頭数の目標(計画)が設定されていると思います。行政毎の昨年度の計画と達成率を知りたいと思っています。計画通りに捕獲されているのかどうか、また捕獲の方法について：最も有効的な捕獲の方法はどんなものか、など詳細を知りたいです。(森林管理局の業務外と思いますが)

○「民有林と連携した取組」

- ・ 民有林と国有林の区別がいまいちわかりません。

3「国民の森林」としての経営管理

○「双方向の情報受発信」「森林環境教育の推進」「国民参加の森づくり」

- ・ 現在、小中学校対象の環境教育推進団体に加入し、日々課外学習のサポートをしていますが、森林の重要性や身近な体験活動等の情報が少なく、又学校の先生達の理解も薄いと思います。広報や相互の情報交換の場が必要ではないでしょうか？たとえば、現在長野県が実施中の「信州環境カレッジ」の様な形です。

- ・ 「多様な森林への誘導」「森林環境教育の推進」「国民参加の森林づくり」などの取り組みには、小学校・小学生を対象とした活動をより進めるべきと考えます。次世代を担う子供たちが森林の持つ多様性や機能などの理解を進めるよう仕掛けるべきと考えます。

- ・ 「森林環境教育の推進」全社会的に必要な事かと思いますが、次代を担う子供への教育、PRが必要ではないでしょうか。

「レクリエーションの森」

- ・ 駐車場の整備やトイレ、看板の改善設置。

4平成 30 年度の取組のポイント

○「主要事業量(林道、治山事業)」

- ・ 治山そのものが水源涵養と国土保全に繋がっていると考えれば、昨今の風水害、崩落などをふまえて、災害後の復旧では無く、治山への予防処置対応の為の事前予算の拡大が必要ではないかと考えています。

- ・ ドローンやタブレットを駆使している点では最新の技術を取り入れ、素晴らしいと思いました。

○「A材のブランド化の推進」

・ A材のブランド化推進というのは、言葉の意味も何をしようとしているのかもわかりませんでした。現在の取組状況に不足があればとの事。まずはこれらのことが私達ばかりではなく国民の誰もが理解できるようにする必要があるのではないかと感じました。

・ 不十分ということではありませんが、最終的には木材の経済的活性化こそが、国有林の保全にとって最も有効な手段であると考えます。十分取り組んで頂いていますが、さらなる注力をお願いしたいです。

○「山地災害対応能力の強化」

・ 個人所有林などで自然災害により山崩れ、地滑りが発生しています。今後も温暖化などで今までに経験したことのないような自然災害が多く発生することが予想されるため。自然災害に対応できる山林管理、方法などのノウハウをもっと公開や指導すべきと思います。

○「里山など身近な国有林散策ルートマップ」

・ 魅力のあるマップとなっていますが、個人で行くには熊やイノシシなどの出現の恐れもあり躊躇することが多いので、時々イベントとして参加者を募集して山歩き出来るようにしてほしいです。

・ 私達高齢者にも気楽に国有林内を散歩出来ることがわかり、是非行ってみたいと思います。今年、近場の岩村城趾コースにチャレンジする予定です。

その他

- ・ 仕事内容の明確化。森林災害について知りたいです。
- ・ 現状、考えられる最善を尽くしておられると感謝しております。
- ・ 取組状況については、現状のままで良いかと思えます。
- ・ 今のままで充分だと思えます。色々工夫されていることを感じます。

問3 PR方法の改善が必要と感じるもの(記述)

回答(一部抜粋・整理)

1 公益的機能の一層の発揮

○「国有林の森林の区分」

・ 私が理解できないとする「国有林の森林の区分」です。国有林の機能類型区分のことであれば、問1にある取組の多くがこの中に含まれています。国有林の使命は、育林をして、木材生産林として機能させることだと思っていました。それがモニターに参加してみて、もっと多様な行政政策が展開されていることに気づきました。水源や防災のための災害保全林、観光のための景観保全林、あるいは快適な生活を保つための環境保全林などです。機能区分は、外にもあるようです。機能区分は、外にもあるようです。PR不足ではないかと思っています。

○「安全・安心への貢献」

・ 近年、山地崩壊・土砂流出等による災害が多発しています。こうした案件を国有林と民有林と比較検討公開することで、異なった視点での評価が得られるでしょう。

○「優れた自然環境の維持・保存」

・ 「戸隠・大峰自然休養林…レクリエーションの森」のようなパンフレットで、各森林計画区毎に保護林や緑の回廊の区域及び森林の区分を地図で表示し、一般の人達がそこへ行くことができるのか、

立入ができないのかを含め、周知するようにしてほしいです。

・ 一般の人にしてみれば、国有林も民有林も区別がつかないと思います。森は森であり、林は林です。もっと気軽に国有林に遊びに行ったり、一日森林浴をして過ごす、お手軽イベントがあればいいと思います。

2 林業の成長産業化への貢献

・ 「林業の成長産業化への貢献」と「森林施業の効率化・低コスト化の推進」は第 1 回アンケートで述べた通りの考えを持っています。しかし、国土保全、防災、更には防衛の観点からしても、適正な利用、管理が必要であり、その担い手は事業者であります。ということは、主目的だとは思わないのですが、事業者が体力を温存できる為に「産業」として成り立って欲しいです。その為には、欧米産の高価な林業機械を導入したり、大規模な土木工事をしたりしないで、低コスト高効率経営を支えるノウハウの開発が求められます。良質な国産材を産み、健全な森を維持する為に、高額な外国製機械を買ったり、外国資本参入を緩和すれば、本末転倒だろうと思います。

3 国民の森林としての経営管理

○ 「双方向の情報発信」「森林環境教育の推進」「国民参加の森づくり」

・ そうした活動の一環として、管内の各小学校をパネル展巡回したり、ショッピングセンターなどで広報活動を行ったりと、多くの人や子供たちに PR することも必要と考えます。

5月の「みどりの日」に限らず、年間を通して機会を作り理解を深めてもらうよう取り組むべきと考えます。

・ 新聞や雑誌、WEB ページなどへの投稿です。

・ 「森林環境教育」については、文科省との連携強化など、まだまだ足りないと感じています。うちの子ども(中一と小五)は、社会科目での「森林」を楽しみにしていたようですが、1~2時間の授業で終わってしまったと嘆いていました。文科省、県、市町村教育委員会との連合会議など、方法の検討をお願いしたいと思います。

・ 具体的な事業を推進されていると思いますが、身近な話題として取り上げられている事例に触れる機会がありません。夏休み等の期間を利用してイベントを開催されていると思います。一方、小中学校の日常の授業の一環として開催されている事例はありますか？

○ 「レクリエーションの森」

・ もっと一般の方にも目につくような PR、観光と一緒に紹介したりして、広めていくのが良いかと思えます(林野庁だけで留めておくだけでなく広がっていくことだと思う)

4 平成 30 年度の実施のポイント

○ 全般

・ 全体的に SNS、フェイスブックの利用が必要ではないでしょうか？

○ 「A 材のブランド化の推進」

・ 特に、海外への PR を強化して頂きたいと思います。

○ 「地域ぐるみでのニホンジカ捕獲の推進」

・ わが家の犬がシカの角をかじり、シカジャーキーを食べて大喜びです。こうした良いことをもっといろいろな人に知ってほしいです。

○ 「山地災害対応能力の強化」

・ 日本は災害＝地震＝津波というイメージが強いですが、実は水害(雨)による土砂くずれ等の方がはるかに多いので、山地災害についてもっとPR(CM など)すべきだと思います。

○ 「里山など身近な国有林散策ルートマップ」

・ 私が入手したのは東信森林管理署のツールボックスです。しなの鉄道・田中駅横の観光協会、市役所の窓口には湯の丸関連のルートマップは置いてないです。作るだけで満足することなく、利用されている頒布部数で成果を測って欲しいです。

・ 知っている方は少ないと思います。出来る限り、多くの方々に周知できるような PR 方法を検討して下さい。

○ 「広報の強化」

・ 広く一般市民や団体に対し明るく楽しく、安心や安全に継がる活動を認知させることが大事で今の感覚では地味で、ある意味マニアックな人しか理解できていないと思います、国民的活動や運動に広げていければ良いですが。

・ 今回のアンケートの中で私が一番言いたいことです。PR する場合は、PR を受けとる側になって、量や質を考える必要があると思います。「これもあれも情報として提供する」のではなく、「今は、あえて、この程度でとどめておく」という相手に考える時間や余地を与えていくことも、PR の大切な点であると思います。

・ 林野庁の活動内容は広報誌やメールマガジン、局のホームページでしか見られないので、一般の人への情報発信力が弱いと思います。ドキュメンタリーやドラマなどマスメディアとのつながりをもっと持つべきではないでしょうか。

・ PR は、老若男女見やすいように、イラストを使ったりして分かりやすくしてほしいです。映画「ウッドジョブ」や「オンリーザブレイブ」のように興味がわく内容で！

・ 「広報の強化」と「レクリエーションの森」、「国民参加の森林づくり」の関連から、『森林管理局』けっこう重たい響きがあり、面白くも何ともないイメージ。せつかなので、若者や親子が来たくなるライブ・イベントミュージシャンなどを巻き込んだ活動など楽しいかもしれません。とにかく、森林に触れ、知ってもらうのが良いと思います。

2. 「国有林おさんぽ MAP」について

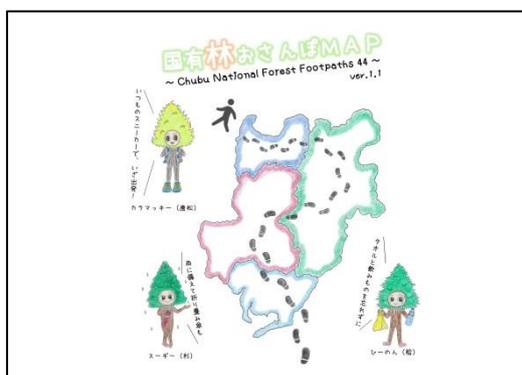
気軽に楽しく心身の健康づくりができる国有林を、管内(富山、長野、岐阜、愛知の4県)から 44 箇所選定し、「国有林おさんぽ MAP」を作成しました。

問1 「国有林おさんぽ MAP」を見た感想・意見

感想・意見

- ・ コース上の目印となる写真を配置し、コース概要が分かり易く工夫されていると感じました。
- ・ 国有林というと、固いイメージがあるので、もう少しやわらかい名称にした方が良いと思います。
- ・ おさんぽ MAP そのものが有る事を知りませんでした。
- ・ 現場写真もあり、大変分かりやすく参考になりました。素晴らしい出来だと思います。できることなら、一般の人達が目につくような場所(駅、道の駅、SA など)にあれば、多くの人達が利用できると良いと思います。
- ・ 少し小さくて見にくいです。
- ・ もう少し細かく時間などを書いた地図を別ページへリンクできるようにしてほしいです。

- ・ コースごと特徴、見所、時間軸などの説明があり参考になりました。過去自身で歩いたコースも幾つか有ましたがポイントを押さえた MAP と思います。
- ・ 見易く、いい MAP だと思いました。
- ・ 知ることは第一歩であり大事であると思います。次の一手として具体的に参加出来る動機づけやトライアルが気軽に出来るチャンス作り、企画が必要だと思います。
- ・ 利用促進をはかる為に、PR方法に一考が必要だと思います。
- ・ 綺麗な写真で楽しみました。もう少し詳しい地図があってもいいと感じました。
- ・ 犬を連れて行って良いかぜひ記入をしてほしいです。いざ連れて行ってダメでしたでは困ってしまうので、二の足を踏んでしまうと思います。
- ・ とても良い取組だと思います。これからは健康の問題も重要視されてくるでしょうから。ただ、他の仕事量と、このことに費やす時間量と、優先順位の問題でしょうと思います。
- ・ 機会があったら行ってみたいと思えて良かったです。
- ・ 詳しい土地案内や写真が添えてあり、また所有時間も書いてあり、初めての人でも迷わず行けそうな、親切な地図だと思います。
- ・ 写真が入っていたり地図が書いてあって、とてもわかりやすい MAP になっていると思いますが、スタート地点へ行く、例えば、最寄りの駅だったり、SA 又は PA だったりするものが書いてあれば、行くのにわかりやすいのでは、と思いました。
- ・ 楽しく拝見しました。しかし「出版物」という視点で見ると魅力的とは言い難いと思います。出版業界や広告宣伝業界に協力を求め、出版物としてより魅力的なものに成長させて欲しいです。例えば、「京都一周トレイルマップ」ように。
- ・トレッキングの所要時間ばかりか、コースの主要箇所には写真がはりつけてあって、利用しやすいように配慮されていると思いました。ただA4 版の用紙は大きすぎるため、リュックにいれるのは邪魔になるな、と思いました。
- ・ 写真や字がボケてしまっている箇所があって、見づらいコースがあります。
- ・ 手作り感があり、ていねいに作られら良いマップだと思いますが、地元の観光協会とか JR とタイアップしてもっと広報してはどうでしょうか。
- ・ 私達高齢者にも気楽に国有林内を散歩出来ることがわかり、是非行ってみたいと思います。今年は、近場の岩村城趾コースにチャレンジする予定です。
- ・ ちょうど私達が中高年なのでありがたいと思います。家族で楽しめたらいいなと思います。
- ・ 子どもと一緒に行ってみたい場所があって参考にしたいと思いました。
- ・ 手書き風の文字フォントを使っていらっしゃり、とても良いと思います。
- ・ とても楽しそうな様子がうかがえました。
- ・ 目的のコースまでの道順を詳細に示してもらいたいです。公共交通機関の最寄り駅やそこからの行き方、加えて見どころなど(天然林、バードウォッチング、珍しいキノコ、蝶他)
- ・ 各コース簡潔で分かりやすく編集されています。ただ、年をとってくと漫画チックなイラストや文字はどうも苦手な眉間にシワが寄って疲れてしまいます。



問2 「おさんぽ MAP」のうち、①歩いたコース ②歩いた感想

13名の方から回答

コース名	人数	感想
②北信 1 戸隠・大峰自然休養林	3人	・戸隠神社奥社への参道でもあり、観光客も多く、野鳥や植物の宝庫であり、お薦めのコースです。
⑤中信 1 樽池自然園	4人	・とてもよく整備されていて、夏と秋それぞれまったくちがう自然に触れて楽しいですし、北アルプスの雄大さに圧倒されます。感動するほど間近で見られる白馬の美しさがすぐそばまで行けるのはすごいことだと思います。ちょっとゴンドラ代が高いかな…。 ・広々として気分の良いコースです。植物も高原ならではのものが多くです。ただし費用が高いのは難点だと思います。高原のスケール感もあり、季節を変えていきたくになります。
⑦中信 3 美ヶ原高原	3人	・北アルプスを含め、松本平の眺望もよく、すがすがしい気分になれるコースです。
⑬東信 4 軽井沢白糸の滝	1人	
⑭東信 5 湯の丸つつじ平	1人	
⑮東信 6 湯の丸池の平湿原	1人	
⑯東信 7 菅平湿原	1人	
⑰東信 8 美ヶ原美しの塔	3人	
⑱東信 9 白駒の池苔の森	4人	・道路を渡る所の道の表示がわかりにくかったのですが、苔がきれいで気持ち良かったです。
⑲南信 1-1 入笠山大阿原湿原、 南信 1-2 入笠山登山	2人	
⑳南信 2 霧ヶ峰八島ヶ原湿原	3人	・シカ害が酷く、嘗てのニッコウコスゲは皆無に近い状況でした。 ・昨冬にスノーシューを履いてのんびり1日歩き回ったが、夏の喧騒とは打って変わった静寂と、天気にも恵まれた白銀の世界は、この世とは思えない素晴らしい体験でした。
㉓木曾 3 木曾御岳自然休養林	1人	
㉔木曾 4 赤沢自然休養林	2人	・途中、木道が壊れている所がありましたが、よく管理されていて、ヒノキ、アスナロ等が存在感がありました。
㉕南木曾 1 阿寺溪谷自然探勝路	2人	・阿寺溪谷のエメラルドグリーンには、感動しました。素晴らしいコースです。
㉗飛騨 1 平湯大ネズコ	1人	・駐車場からも近く、緑が多く、空気がおおいかったです。樹齢 1,000 年と言われる大ネズコには圧倒されました。

⑳飛騨 2 三方岩	1 人	
㉑岐阜 3 古城山遊歩道	1 人	
㉒岐阜 4 金華山山頂遊歩道	2 人	・一番好きな場所が岐阜城から見る景色(街並)で、そこだけでも満足ですが、どのルートも飽きることなく楽しめる所が良い所だと思います。
㉔東濃 2 富士見台高原	1 人	
㉖東濃 4 岩村城跡	3 人	・来年のNHK大河ドラマのロケ地でもあることを気にとめ、でかけてみました。多くの外国人を見て驚きました。岐阜県にも県の森が 30 箇所ほど設置されていてこれにでかけていましたが、これの方が楽しそうです。お散歩マップ片手に出かけたいと思っています。
㉘愛知 3 段戸自然観察教育林	1 人	・もともと親しみのある場所ですが、ガイドの方の案内の下で歩いたのでとても良かったです。やはりガイドの力は大きいと思いました。
㉚愛知 5 豊橋自然観察教育林	1 人	・案内が親切丁寧です。表示は文字がはっきりして読み易くなっています。安心して散策を楽しめる軽微なコースでした。 ・地味ではありますが、国民的な手軽に自然を手に行ける「おさんぽ」コースでした。

3. 広報誌「中部の森林」について

問1 林野庁の他の広報誌と、中部森林管理局の広報誌を読み比べた感想・意見

感想・意見

- ・他の広報誌よりも、内容的にも量的にも充実していると思います。QRコードなどの先進的なモノも積極的に取り入れるなど企画編集も意欲的と感じました。
- ・色々なブロックがあり、特色がありますが、中部は見慣れている為か一番見やすいです。
- ・それぞれ特色があつていいと思います。
- ・中部の森林の良いところは、ページも多いし、読みやすいところです。また、その月の見どころがのっていて、これは行ってみようかなという気になります。他の県も、その地域の特集などが多く、楽しく読めます。東北の広報誌の最後に、我が署の名所というのがあつて、これはいいなと思いました。知らないところを知る機会になると思いました。
- ・「中部の森林」は身近な場所の話題で親しみやすいです。「見どころ 聴きどころ」はとても参考になります。
- ・表紙の季節の写真 気持ちいいです。中の写真も適当に配置されて見易いです。ただし九州、近畿、中国の広報の様に写真の四方の角をとり丸みがあればソフトな感じになるかと思います。
- ・どこも同じに感じます。
- ・お仕事紹介コーナーがおもしろく、毎回楽しみにしています。他の管理局のものより、内容が読みやすいと思います。
- ・生態系保全と地域一帯化、ブランド材を用いた洋風パーテーション迄、多面に亘る中部の森は訴求ポイントも明確で見やすいと思っています。今回他管理局の広報を拝見した中でも環境、自然観

察教育、地域に於ける研究発表などは中部と内容的には同一と思いますが、特に民間企業参加の全国規模のコンクール表彰は各管理局を通じた新技術の共有化、企業の活性化に大きなインパクトがあると捉えています。又中部、関東の3月号に記載のGIS

については今後の事業運営、生産性向上に大きな変革をもたらすソフトと拝見しました。

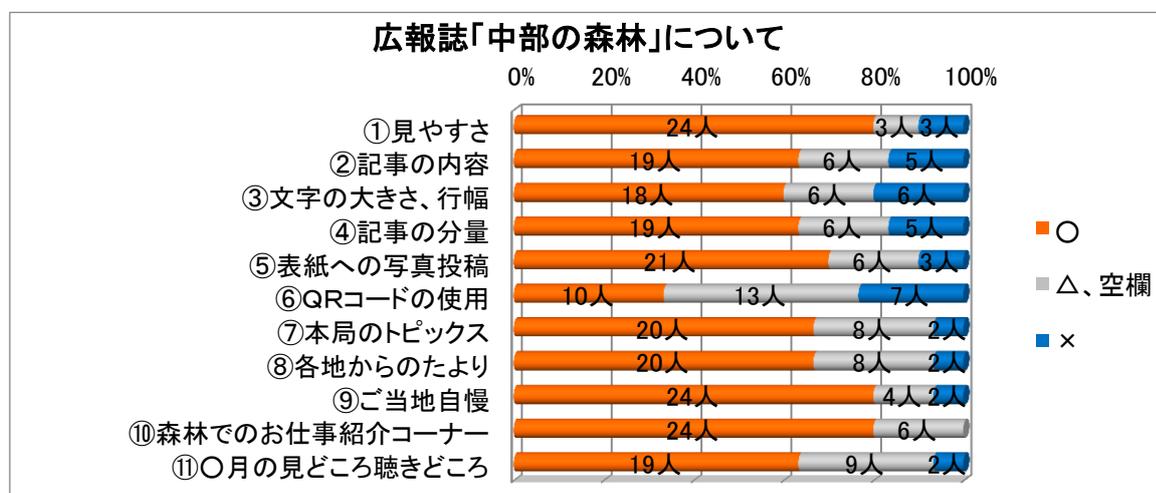
- それぞれの地域のカラーが出て、改めて読み比べると面白いですね。写真や記事を見て、行ってみたいと思う場所も何カ所もありました。
- 幅広い情報発信で悪くは無いですが、特にここぞと思う課題ポイントを長期にわたりシリーズの形でインパクトのあるものに仕上げれば印象にも残ると思いますし結果的に次のステップへの助けに継がると思います。
- それぞれが目線の異なるところから、作成しているのは当然で、さらにこの違いを生かしてもらいたいです。一方で、広報誌は誰を対象として作成しているのかを常に考えて自己満足で終わることのないようにしてもらいたいと思います。関心のない国民の味方を何人増やしたか、地域住民からこんなことをやってくれていたかという再評価の声が聞かれるようにと思います。
- 林野庁の記事は、紙質がよいですが、内容は中部森林管理局の広報誌の方が身近で普通の人々の生活感が伝わってきて良いと思います。
- 働いている若者の言葉や写真に日本の未来がかかって頼もしく思われます。
- 中部森林管理局の広報誌は、他地区のものに比べてよく考えられた内容や配置、文字の大きさ等一番良いと思います。ただ、問2にも関係してきますが、いろんな多くの事柄を入れ込もうとしている為、何が言いたいのがボケてしまっているように感じます。前にも今回も書きますが、ある程度しぼることで分量も減り、「しまった」出来になると思います。
- どの地域もそんなに変りはないように思います。細かい所では違いますが、基本的に必要な事業は変わらないので当然といえば当然だと思います。
- 他の森林管理局の広報誌を興味深く拝見させていただきました。それぞれの地域の特色が出ていました。共通の話題として、シカの被害を止めること、林業の活性化、そして次世代へつなぐ取り組み等、同じ問題を抱えているようです。個人的に、私は秋田県大館市出身ですので、“みどりの東北”はなつかしい地名が出ていて、郷愁を誘われました。
- 各管理局の特色がいろいろ出て、それぞれによくわかる読みごたえのある広報誌だと思いました。
- 他局と比べて特に見劣りがするということはないと思います。しかし、抜きん出ているということもありません。他局に共通して感じることを述べます。「誰が読むか」が曖昧に思えてしまいます。岐阜県の林政部が出しているものも毎月目を通しますが、同じ事を感じます。身内向けなのでしょうか、関係各位向けなのでしょうか、一般市民にも読んで欲しいのでしょうか、教育機関での教材の一助にして貰いたいのでしょうか。対象毎に紙面レイアウトやデザインを変えるとか分冊化するか…予算もあるから、思い切って「官報」に徹するとか、色々な選択はあると思います。くれぐれも「局のが駄目」と言っている訳ではありません。
- どの広報も工夫を凝らしていて、読みやすい編集になっていました。ただ、読まれないだろうとわ



かっていて、掲載されている記事もみられました。これは広報誌の宿命かもしれませんが、例えば表彰式の記事など関係者以外に読まれるとは思いません。この点「中部の森林」では、ご当地慢や〇月に見どころ聴きどころを載せるなどして、読者をひきつけようとしているのが良く解ります。他誌でもこれは、意識されているらしく、植物の紹介や檜膚採取の状況を載せるなどして、工夫がされているのを見ました。

- ・ 中部局は全体的に詳しく説明されていて、写真を使用することにより、より分かりやすくその内容が入ってきて良いです。
- ・ どの局の広報誌も国有林の育成と保存のために力を注いでいるのがわかり感心しました。中部森林管理局は、月間のイベントなどが載っていて活動に参加してみたいくなるのも多かったです。
- ・ 広報誌の活字の大きさが他の広報誌と比べて大きく、非常に読みやすいです。関東森林管理局の広報誌「関東の森林から」に掲載されている「きのこ特集」は非常に興味深いシリーズ記事で良いと思います。
- ・ 文字の大きさに配慮があって良い。冊子のページ数も充実している。「森林でのお仕事紹介コーナー」が面白いです。若手の活躍を感じます。写真が沢山あって見やすいです。
- ・ どこも写真が豊富で、読みごたえもありました。読み慣れているせいか、中部の森林がもの足りなく感じました。
- ・ 一番感じたのは、それぞれの管理局ごとに、タイトル(誌名)やデザインが異なっているのが、素晴らしいと思いました。個人的には「みどりの東北」が一番好きです。
- ・ 中部の方が見やすいと思います。市民の手に取りやすい(渡りやすい)場所におくなど内容がとても充実しているので、目にとまりやすいように工夫すると良いと思います。
- ・ 中部森林管理局の広報誌はとても読みやすいと思いました。特に当該管理局においては垂直分布に多様性が見られると思います。其の辺りにも期待して読んでいます。
- ・ それぞれの管理局で工夫をし、特色ある取組を行い、興味深いものがあります。地域における現状が分かります。多くの困難な状況への真摯な姿勢が伝わってくると共に編集者の違い、思いが見えてきます。「中部の森林」は表・裏表紙に大きな特徴がみられます。ほっとするような表紙写真、一目で全体が分かる管内マップの裏表紙とも気に入っています。

問2 広報誌を読んで、良いと感じたものに○、見直しや改善が必要と感じたものに×



主な理由

①見やすさ

- ・ 見慣れていることもあるのか見やすい。
- ・ 字が大きく読みやすい。写真も適所に入っていると思います。
- ・ 表紙の写真が良いと思います。
- ・ 写真と文字の量のバランスがよく、見やすくなってきていると思います。
- ・ 写真等もあり段落もあるので一つの記事に集中して読めます。
- ・ カラー写真が多く目を引きます。とても見やすいと思います。
- ・ レイアウトがしっかりしていると思います。
- ・ 主な項目の目次があるからです。
- ・ 日々の活動や苦勞されている実態がわかってよいと思います。
- ・ 各記事毎に適確な写真があり大変見やすい。
- ・ 表紙をはじめ、内容もすっきりしたデザイン配置で見やすい。
- ・ 見出しが単調と思われるので、工夫をしてみたらと思います。
- ・ QRコードでネットへ誘導するなどです。
- ・ 表紙以外「見出しでつかむ」的なインパクトがない。写真図表が小さく、特に図表の文字は見にくいと思います。

②記事の内容

- ・ 管内の状況を知らしめようとしています。写真配置などにも工夫があり分かり易い。
- ・ 「森林でのお仕事紹介コーナー」が毎回楽しみです。
- ・ 専門的な内容を、わかりやすく書いてあると思います。
- ・ 現場の情報が多くて良いと思います。
- ・ いろいろなイベントの紹介がおもしろい。身近で良いと思います。
- ・ 多面に至り構成されていると思います。
- ・ 生産性から地域に関することまで多岐にわたり個々の興味に添えるのではないのでしょうか。
- ・ 今何が問題になっているかがわかりやすく書かれています。
- ・ 読むのに十分な記事の内容だと思います。
- ・ 林業にかかわりのないものでも理解できてわかりやすい。
- ・ 若手の紹介、ご当地自慢の面白さです。
- ・ 行政らしい真面目さの中でも、少し工夫されておもしろいところもあり良いと思います。
- ・ 簡潔な表現でよくまとまった内容になっていて分かりやすい。
- ・ 少し内容が難しいです。
- ・ 林業従事者ではありませんので専門的な内容にはついていけません。
- ・ 内容が盛りだくさんだと思います。でも固いお話が多い気がします。近くの温泉コーナーも取り入れたら面白いのではないのでしょうか？
- ・ いろんな内容にわたっている為、情報量が多すぎると思います。
- ・ 読者対象毎に整理して、メリハリをつけた方が良いと思う。
- ・ 説明が詳しくて良いのだが、あまり長い内容だと、内容があまり頭に入ってこない。

③文字の大きさ・行幅

- ・ わりと大きな字で読みやすい。

- ・ ちょうど良い、十分だと思います。
- ・ 普通だと思います。
- ・ 文字の大きさや書体も読みやすく良いと思います。
- ・ かりやすい大きさと、行幅も大きさにあったものだと思う。
- ・ これ以上のものがあるとは、思われたい。段組も統一されていて綺麗だと思います。
- ・ 活字の大きく読みやすいです。また、行幅にも余裕があり良いと思います。
- ・ 主たるページのポイントは読み手に配慮したもので、やさしいと思います。
- ・ もう少し文字を大きくしてほしいです。
- ・ 見出しの文字の大きさや、行幅を変えたりして、見やすくしてはと思います。
- ・ 年齢的なものもあるが写真や文字が小さく散漫になっていると思います。
- ・ 老眼には少し辛い文字の大きさの場合もあります。
- ・ 図表の文字以外は良いと思う。図表の文字は、失礼だが、「パワーポイントの頁をそのまま貼り付けた」感があります。
- ・ 文字の大きさが少し小さいと感じる。
- ・ 年齢のせい、フォントがもう少し大きいと助かります。

④記事の分量

- ・ この位で、ちょうど良いのではと思います。
- ・ さっと読める量だと思います。
- ・ 詳細は HP で確認できるようになっていて、あらしをつかむには丁度良いと思います。
- ・ いろいろなトピックが、ちょうどいい量で記載されています。
- ・ 量は多くもなく少なくもなく適量だと思います。
- ・ 冊子が薄いと、手に取る気になりません。ページに載せられる記事の分量は、自ずと決められることから適当だと思います。
- ・ コンパクトにまとまっていると思います。
- ・ 簡潔にしてほしいです。
- ・ 多少多いかとも思いますが、職務に関する想いの結果と拝見しています。
- ・ 焦点を絞ったりシリーズ化をし、線としてつなげていく。記事への絞りこみだと思います。1回読んだら終わり、記憶に残りません。
- ・ A3 の大きさと、4 枚両面印刷ですね。とりあえず 3 枚に減らしてみたらどうでしょうか。
- ・ 対象毎に整理されて、メリハリ(読まなくて良い所と読みたい所が混ざらない)がハッキリすればなお良いと思う。
- ・ イラスト・写真がもっとほしい。

⑤表紙への写真投稿

- ・ いい景色を見ると、知らせたくなる。読者の参加意欲の刺激にもなります。
- ・ 自然のありがたさが伝わります。
- ・ 季節を感じさせる写真となっていると思います。
- ・ 毎回良い写真が載っていると思います。年間でカレンダーにすればどうでしょうか。
- ・ 季節写真と内容が繋がりがり楽しませて頂いています。
- ・ 素人さんの〇〇がでていると思います。
- ・ 表紙の写真も職員が写したものでなく、投稿者のものを採用している点が良いと思います。

- ・ 季節を感じさせる写真で、素晴らしいです。一番好きなページです。
- ・ いろいろな風景が見られて良いと思います。
- ・ とてもきれいな写真で引き込まれます。一度行ってみたいと思います。
- ・ 各地区の季節が感じとることが出来て良いと思います。
- ・ 季節感のある写真を期待しています。
- ・ 毎号、一般の人々にも素直に受け入れられるような魅力ある写真で、柔らかさを感じます。
- ・ テーマを決めたシリーズ化だと思います。
- ・ 風景写真ばかりですが、山野草や希少動物、例えば木曾 5 木などもとりあげられていて、よいのではないかと思います。
- ・ これは御誌への批判ではありません。最近の画像・動画「投稿」ブーム自体に対して反感を持っているのが理由です。

⑥QRコードの使用

- ・ 詳細を知るのに必要であると思います。
- ・ 今の時代にあっていると思います。
- ・ 私は QR コードを使うことはあまりないのですが、他に先がけている点、意欲を感じます。
- ・ 今の時代必要だと思います。
- ・ スマホにかざすだけで読めるのですね。
- ・ よくわからないのですが、利用が増えるのであれば又は関心があれば興味本位で使用すると思います。
- ・ 詳細を確認でき非常に良いと思います。
- ・ 便利さが良いと思います。
- ・ わかる人とわからない人とがいるのでなんともいえません。
- ・ 小さすぎて気がつきませんでした。
- ・ 少ないです。
- ・ 利用していません。使っていません。
- ・ 私自身はやったことはありません。
- ・ 使っていません。QRコードを使うとなにかいいことが沢山あるよーと教えて欲しいです。
- ・ 御誌への批判ではありません。「何でもスマホ」への反感です。
- ・ 見たことが無いですが、何処にあるのですか？おさんぽマップもこれがあれば手軽に現地で見ることができ便利だと思います。

⑦本局のトピックス

- ・ 見出しとして必要だと思います。
- ・ 本局の行事がわかるので必要であると思います。
- ・ あまり知られていない事柄を教えてもらえました。
- ・ 情報がわかります。
- ・ 月々の重点課題及び方向付け(基本指針)として拝見しています。
- ・ 活動がよくわかって良いと思います。
- ・ 御誌を読まなければ得られない情報があるのと、何故かホッとできます。
- ・ 幅広い分野でいろいろな取り組みが行われているのがよくわかります。
- ・ 当然必要な情報で、見直しなど考えられないと思います。

- ・ 各局内の情報が読みとれるのは良いと思う。
- ・ カラフルに色々説明されていて良いと思います。
- ・ 各課の取り組みや実施状況がわかり良い。
- ・ イベントなどが良くわかります。
- ・ 全体を総括したような内容で、本腰を入れている意気込みが伝わってきます。
- ・ ネタが重なっていると思います。表彰しましたネタはいらないと思います。
- ・ すべてを網羅したい気持ちはわかるのですが、1つか2つずつにしぼって、より深く内容の濃いものにしていったらどうでしょうか。

⑧各地からのたより

- ・ 管内各地のニュースを取り上げていて良い。
- ・ 各地の様子がわかるので必要であると思います。
- ・ 地元の人との見学会などためになりました。
- ・ 多方面からの情報があって良いと思います。
- ・ 傘下森林管理署の運営、活動状況などご苦労が良く解ります。加えて地域連携などを通した訴求が素晴らしいと思い、拝見しています。
- ・ 他の場所のことが知れて良いと思います。
- ・ 局全体の方針に沿い、各地域での活動となるので必要だと思います。
- ・ セミナーやいろいろなイベントが行われていて、国有林が身近なものになっていると思います。
- ・ 本局のトピックス同様、各地域の情報が知ることが出来るから良いと思います。
- ・ 御誌を読まなければ得られない情報があるのと、何故かホッとできます。
- ・ 各地で行われている内容を文章にてしっかり伝えていて良いと思います。
- ・ 各課の取り組みや実施状況がわかり良いと思います。
- ・ 初めての人にも分かりやすいと思います。
- ・ 各地で力を入れている内容の一端が分かります。一枚の写真が雄弁に伝えてくれます。
- ・ 各地からのたより・ご当地自慢一緒にしたら良いと思います。
- ・ すべてを網羅したい気持ちはわかるのですが、1つか2つずつにしぼって、より深く内容の濃いものにしていったらどうでしょうか。
- ・ 事業実施の事後報告が多く、全く面白くない。

⑨ご当地自慢

- ・ ドライブガイドとして参考にしています。
- ・ 知らないことがわかり勉強になります。楽しみにしています。
- ・ 楽しんでます。行ってみたいと思わせる感じで良いと思います。
- ・ 観光マップとして参考にさせて頂いています。
- ・ 知っていることは更に深く、知らないことは意外性を持って知れます。
- ・ 行って見たいなーと感じる写真が良いと思います。
- ・ 知らないこともあり、なかなか寄る機会は無いですが楽しいです。
- ・ 知られざる各地の優れた景観が紹介されていて、大変興味深いです。
- ・ いろいろその土地のことが知れて良いと思います。
- ・ 御誌を読まなければ得られない情報があるのと、何故かホッとできます。
- ・ ご当地の自慢があり、一度訪れたいという動議付けになりありがたいです。

- ・ 毎回楽しみにしています。
- ・ うなずきながら読めました。なるほどと思えました。
- ・ 個性があり、おもしろいと思います。
- ・ このコーナーを最も興味深く読んでいます。
- ・ 毎号、肩が凝らずリラックスして読めます。
- ・ 各地からのたより、ご当地自慢、を一緒にしたら良いと思います。
- ・ あまり必要ではない気がします。
- ・ 見やすい写真を使ってもらいたいです。

⑩森林でのお仕事紹介コーナー

- ・ 普段知ることのない仕事の状況の他、個人のメッセージなども面白いです。
- ・ 色々なお仕事があり、感心させられます。
- ・ 若い人のがんばっている姿が、たのしいと思います。
- ・ 現場の事が分かると思います。
- ・ 管理官たちのはげみになると思います。
- ・ 森林官の職務遂行への想い、地形地質に拠る管理、工事形態の違い等現場の御苦労が良く解るコーナーと思います。関係工事業者紹介をも含め次世代担い手へのメッセージ等、奥深い内容と拝見しています。
- ・ 一般の若い人には、興味を持ってもらえると思います。
- ・ 色々つながりがあり、奥行きがあることが理解できます。
- ・ 今、一番読んでおもしろいです。文面も人柄が出ていたり写真の顔もいいと思います。
- ・ 個人的な思いも知ることができ、参考になるところがあります。
- ・ いろんな人が林業を支えているなと感じられます。
- ・ 森林での仕事内容を新たに知ることが出来るので良いと思います。
- ・ プロではないですが、森を仕事場としている者として、楽しんでます。
- ・ この記事によってこれまで、多くの林業実態や実情を知ることができました。
- ・ いろんな情報を知ることが出来て良いと思います。
- ・ 働いている人の色々な様子がわかってよいです。
- ・ 森林現場での仕事内容がわかりやすい。
- ・ 色々な仕事が知れました。
- ・ 一番興味を持って読んでいます。
- ・ 様子がわかり、多くの事業所や企業を紹介してほしいです。
- ・ 非常に大切なことをわかりやすくまとめてありますが、量が少し多すぎる気がします。

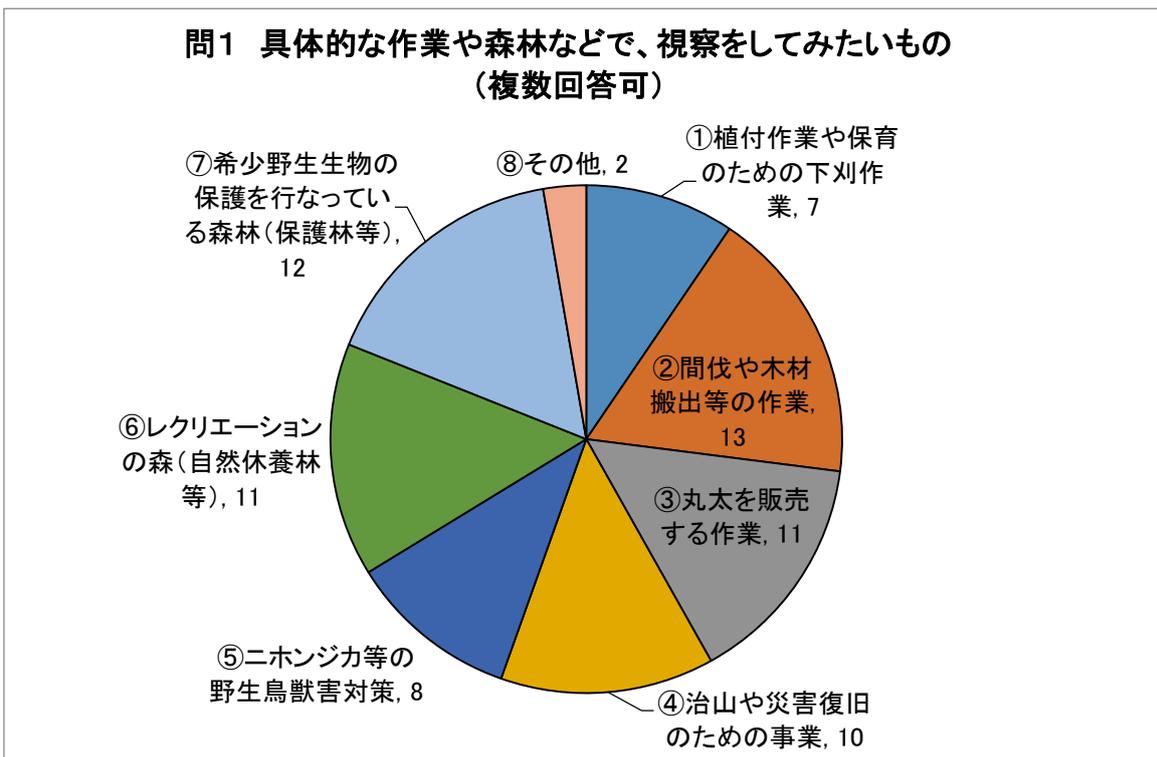
⑪〇月の見どころ聴きどころ

- ・ 翌月の行事行楽予定としても、大変参考になります。
- ・ いろいろ知ることができて、楽しみにしています。
- ・ いつも出かけるときの参考になります。
- ・ 結構良い情報があると思います。
- ・ 行楽の参考となります。
- ・ ⑨のご当地自慢を優先し、あまり見ていない。

- ・ 行ってみたいくなります。
- ・ 季節の移り変わりや事業の進捗が感じられます。
- ・ これを見て週末の予定、夏休みの予定を決める人も多々いると思います。
- ・ 各地域の催し等が知ること出来て良いと思ったからです。
- ・ 御誌を読まなければ得られない情報があるのと、何故かホッとできます。
- ・ 行政と国民との間での双方性が、重要視されていると思います。読者に発信し反応させる手段として欠かせないと思います。
- ・ どの場所なのか、どんな所なのか説明されていて良いと思います。
- ・ 色々なイベントが知れて楽しみです。
- ・ イベントに参加したい気持ちがわいてきます。
- ・ 毎号楽しみにしています。
- ・ 早めに手に入る有難い情報として活用させていただいています。
- ・ 特に必要性が感じられません。
- ・ この広報誌にあえてのせなくてもよいように思います。

4. 国有林モニターの現地視察について

平成 31 年度の現地視察(日帰り)について、皆様のご希望を伺いました。

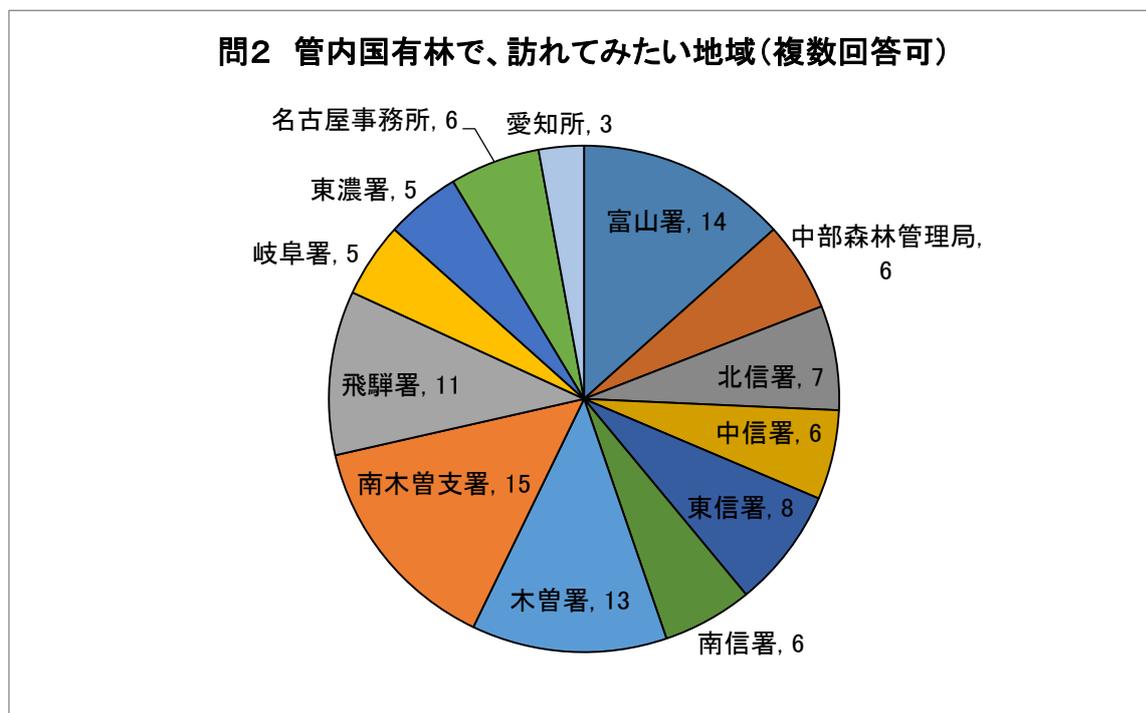


⑧その他・コメント内容

- ・ 木材を高く売る方法があれば知りたい。
- ・ 丸太にどうやって値をつけていくのか知りたい。
- ・ 災害復旧ではなく、災害防止での木材の活用方法があれば知りたい。
- ・ 砂防ダムのしくみを知りたいと思います。
- ・ 木曽の美林、立山スギ巨木の森を見てみたい。
- ・ 間伐材を使ってバイオマス発電をし、その電力を使って何らかの事業をされている所があれば視

察させていただきたいと思います。

- ・ 近ければ参加したいのですが、山道は正直運転が怖いです。



問3 管内国有林で、訪れてみたい具体的な場所や施設等

- ・ 古くからの木材名産地の木曽や、諏訪神社「御柱祭」に使う木材を生み出す森林などを見たい。
- ・ 災害発生が見込まれる国有林で、災害防止の工事箇所があれば、どんな方法で事業を進めているか知りたい。(災害が起きてからではおそすぎると考える。)
- ・ 木曽の美林、立山スギ巨木の森、ブナ平の立山スギ
- ・ 木曽で森林鉄道に乗ってみたい。
- ・ 森林技術・支援センター
- ・ レクリエーションの森(木曽御嶽自然休養林、飛騨白山白川郷自然休養林、戸隠・大峰自然休養林、駒ヶ岳風致探勝林、赤沢自然休養林、阿寺溪谷)
- ・ 中部山岳森林計画区
- ・ 一般に知られていない、森林管理署のとおきの場所が良い。
- ・ 管内一過酷な状況のところを希望です。加えて、バイオマス発電をしているところがあれば、そこを。
- ・ 機会があれば、どこという所関係なく、一度は管内国有林を訪れてみたいと思う。
- ・ 具体的な場所は、わかりませんが分水嶺のある森。峰に流れがあるなんて信じられません。
- ・ いろいろな場所に行ってみてみたいのですが、とにかく足が、バスを出していただけるとありがたいです。

5. その他

中部森林管理局管内の国有林面積 654,831ha に対し、職員数は 522 人(H31 年 2 月末時点の定員数)となっており、単純計算では職員 1 人あたり 1,254ha(18 ホールのゴルフ場約 12 ヶ所分の面積)の

管理経営を担っていることとなります。

問1 中部森林管理局の管轄面積と現状の職員数について感じたこと

- ・ そうした広大なエリアの管理経営を、職員一人で果たして出来るのだろうか？と、まず最初に頭に浮かびました。いろいろとパソコンなど最新のアイテム等を使って省力化・効率化に取り組むとはいえ、自然相手の現場でもあり、手薄なおざりになって自然災害防止にマイナスになっていけないとも思います。
- ・ やはり、面積に対して、職員数が少なく感じます。ボランティアや嘱託など雇う必要がある気がしました。
- ・ 数字のうえでは職員数が足りないと思いますが、各森林管理署でどの程度の事業量があるのかよく分からない部分もあるので、各署毎に、どんな事業でどの位人が足りないかをもっとアピールする必要があるのではないのでしょうか。
- ・ 国だけでなくすべてに人材が不足している中で、やはり、森林管理局でも不足しているのですね。この中だけで経営を行おうとすることは非常にむずかしいと思いますし、コストもかけられないということがわかります。国民1人1人が参加して身近なところから感心を持って、昔からの木の家を作ったり、そういうことがもっと広まった方がいいと感じました。
- ・ 地元の方々に協力社員としてアルバイト的な雇用をしてみてもどうでしょうか。
- ・ 率直に一人の管理範囲は広いと思います。即財政人件費の話になってしまう訳ですが、貴重な日本の自然を守っていく訳です。この意味をどんどんPRして職員の増員を期待します。
- ・ まだ多いと思います。
- ・ 職員数が少ないと思います。県や市の担当と比べて、知識や最新の技術、情報を有していると感じました。
- ・ 管理局の経営遂行の為の個別事業内容とその規模、事業目標達成までの時間軸、予算配分、組織又個人に与えられる管理スパン、業務委託事業者の能力規模と遂行能力、業務委託内容、例えば業務委託事業者が管理局又は地域森林管理署と契約し「経営計画を理解した上のエリア管理業務」まで持つのか、或いは細部まで管理局又管理署の指示の下遂行するのか、事業規模、内容により異なると思いますが、経営契約形態に関する知識が無い為判断できません。
只近年増加している豪雨災害、ニホンジカ対策などを考えた場合、既に対応されているとは思いますが、事前に危険個所など災害を予測し、それを防ぐ為の事前工事予算確保と対策に動く為、管理局が広域で有るだけに専門分野の組織と人材が必要ではないかと思っています。
- ・ 1,000 ha超の管理は、大変な事だと感服しています。GIS等を駆使して、より効率的かつ安全な管理をしていただけたらと思います。
- ・ やはり、予算問題に行き着きますが、絶対数の不足はいなめません。現在の仕事の整理を行い、やるべきポイント業務と各種団体への下請け、協力、共同事業として切り分けできないのでしょうか。
- ・ かつての営林署と異なり、直接、事業展開することが極めて無くなってきていることか現状というのは妥当かも知れませんが、上記のような列示は適切とは言えないと思います。一人当たりの労働



量を詳細に知った上で理解を深めたいと思います。

- ・ 18 ホールのゴルフ場 12 箇所は多いと思います。お疲れ様です。
- ・ 本当に大変なお仕事だとも思います。私には息子がいますが、息子は辛い仕事で給料が少ない仕事につくのは嫌だそうです。やりがいがあるよ？と問うても関心がありません。このような考えの若者が大半だと思います。親の育てかたが間違ったといえればそれまでですがどうしたら森に関わる仕事をする人が増えるのでしょうか？
- ・ かつての営林署・営林局の時代と比べてマンパワーが激減している分、現在の職員の皆様の仕事量はとてつもない量であろうことは同情しすぎることはないと思います。限られた人員で仕事をせざるを得ないとすると、優先順位と取捨選択の問題ともいえると思います。
- ・ 一人当たりの管理面積が広くて大変そうに思います。
- ・ 数字を見ただけで、1人にどれだけ負担がかかっているのかわかります。でも、人数をやみくもに増やせばいいだけではないのでしょうか。ドローンやあらゆる機器を使い、事故のないように効率よく進めるしかないのでしょうか？
- ・ ピンとはこないが、面積に対して職員の数の割合が合わないような気がします。もっと職員が増えたらと思います。
- ・ 回答するのに非常に困難な質問です。管轄面積の中にどんな種類の作業や事務があり、これに費やす時間がどれ程なのかがわかりません。これが分かれば職員の受け持ち面積ではなく、管理経営時間が算出されて、仕事量の適不適が判断できます。それにしても、中部森林管理局が管轄する、森林の広大さを知って驚嘆しています。
- ・ 今の現状で職員が多いのか、少ないのかわかりませんが、一人で管理する面積は、思っていた以上にとてつもないことだと思います。
- ・ 最近では、災害も多くシカなどによる森林被害も多いので、一人で担うには仕事量が多すぎると思いました。
- ・ 段戸国有林を視察した際、少人数の担当官が単身で広範囲の国有林を管理されていることに驚いた。もっと多くの方が必要と考えます。
- ・ もう少し人を増やした方が良くもかもしれません。せめて2倍にしたいですね。
- ・ 仕方のないことだと思います。
- ・ 単純に考えて、人数が少なすぎると感じました。
- ・ 人数がもっと必要なので、全人数が足りていないと思いました。
- ・ 経験の長さによって管理経営の広さは負担にならないか心配です。
- ・ 他の森林管理局はどのような数値になって居るのか不明ですので、上述の数字をどのように理解したらよいのか？ また、職員の方々が日々具体的にどのような仕事をなさっているのかも判りません。何を以て適正人数を判断するのか？ コメントを控えたいと思います。(民間企業では利益目標という明確な数値があり、その達成率で評価されますが皆さんのような業務は何を以て考課が実施されるのか解りませんので)
- ・ 何を行うために、どれだけの人が必要かよく分からないところがあります。
広報・中部の森林を楽しみながら拝読しました。この中から管理局の担う仕事の概要を推察すると、とてつもない仕事量と感じます。評価するには管理局官の比較や、民有林管理状況との比較も欠かせない要素だと思います。

問2 その他中部森林管理局に対する意見・要望

- ・ 今後も色々な情報を提供していただけたらと思います。
- ・ 国有林が一般の人達にも身近に接することができるように、「国有林おさんぽ MAP」等のパンフレットを駅や道の駅及びPAに置くようにして、一般の人達の目にふれられるようにしていく必要があるのではないのでしょうか。
- ・ 最近思ったのですが、環境省と農林水産省との役割が重複しているところがあるのでしょうか。公害などは環境省で鳥獣被害は農林水産省？自然環境など連携するところがあるのでしょうか。勉強不足でいまいよくわかりませんが、各省庁ともっと連携して、同じような業務がないか、無駄がないかなどを考える必要があるのではないかと感じます。行政はたて割が多いので、いっしょにできることがあるのではないかと思います。
- ・ 昨年10月の愛知県の現地視察欠席しました。是非同様の企画をやっていただき参加したいと思います。現場に行き色々体験したいと思います。
- ・ 今後どのようにAIやIOTを活用していくのでしょうか？
- ・ 大町の管理署で、北アルプスの登山道、山小屋も管理下にあると聞きました。その職員の数も少ないと思います。
- ・ 現地視察を通して、森林官の方達の見識の高さや経験の豊かさに驚きました。継続してください。少しずつですが、国有林とそれを管理されている方達の理解と共感が広がると思います。
- ・ 特にありませんが、林野1月号に記載の「改質リグニン」に興味を覚えました。二酸化炭素排出など国際的に大きな問題になっている中、近い将来石油化学製品に替わり、電子部品、家電、自動車業界等への参入、加えて廃プラスチック加速の中、その代替え製品としても有望市場が見えていていると思っています。電子部品など工業製品への参入には品質、価格など敷居も高いと思いますが早急な立ち上げを期待しています。これからも広報等の冊子を通じて、今のことをより分かりやすく、より詳しく情報発信して欲しいと思います。
- ・ 全体としてまじめで、一生懸命に活動しているのは理解できますが、新しい血や外部の人達の考え方を取り入れ違った角度からのアプローチを考える必要が有ると思います。ネット世界の革新とはいわないが感覚的には江戸時代からのながれは変わっていないような感じがします。あと20年30年50年先を想像した時の今やるべき事は？と思いました。
- ・ 皆さん、一生懸命に前向きに対処していると理解しています。ネットでのアンケート回答を前回行いましたが、ネットでの回答は事前に調査し、むだなコストをかけないことで、ちりも積もれば山となります。このようなムダを他でもやっているのではないかと……と思います。
- ・ 小学生、中学生の職場体験、高校生での受け入れがもっとあってそれが新聞記事になるなら存在がしれて、PRなと思います。今、若い人達は、楽な仕事がしたい、と思っている人も多いかもしれませんが、でも、肉体系のきたえる仕事も興味もってる子もいるので、カッコいい現場がもっと人々に知れわたったらいいと思います。うちの甥っ子はそんな仕事がしたいらしいです。
- ・ よくわからない私がモニターに参加して、申し訳なく思っています。私は木の香りが大好きです。森林に入ると木の香りに包まれて幸せを感じます。今は、犬と一緒になので、犬と一緒に森に入りポーンとしてしまいます。でもふとここで熊に会ったらどうしよう？と真剣に考えてしまうことがあります。これからも主婦の何気ないつづやきにお付き合いください。
- ・ 今回、地域の広報誌と比べて、広報「中部の森林」のレベルの高さを感じました。内容はとても素晴らしいと思います。ただ、量的に多くつめこみ過ぎていると思います。読む側の立場に立って考え

てみると、どんなに内容的にすばらしくとも、あまりにも量が多いと、最後の方ではいやにやってくるのではないのでしょうか。相手に対して、多くの情報を与えるのではなく、より深い少しの情報を与え、「知りたい」という気持ちにさせ、自らが情報をとりにいくようにしむけることも大切だと思います。その為には職員の皆さんが仕事においまわれるのではなく、心と体に余裕をもって、生活されることが大切でしょう。皆様お体大切に。

- ・ モニターになって初めて知ったことばかりです。日本の林業の維持、そして活性化、そして次世代へつなぐために、常に日々の仕事をたゆまず努力していることに、頭が下がります。日本の林業の未来は明るいですが、シカの被害への対策は、イタチごっこになっている感じもしますが、広くアイデアを募り、これ以上悪化しないといいなと思います。
- ・ 一般の人にももっと森林管理局という施設について知ってもらう為に、いろいろな活動によって広めていき、若い世代の人達にも林業について理解してもらえよう働きかけ、人員を増やし、関心を持ってもらえるような環境を作っていってほしいです。
- ・ 豊田佐吉が創めた自動織機の会社は、自動車会社になり、愛知時計は、愛知時計計器となって、時計と離れて精密計測機器メーカーとなりました。いずれも木材を使って製品を生産するメーカーだったものが、今は全く関連のない企業になっています。産業界は、常に変化が求められており、林産業とも同じことだと思っています。これは中部森林管理局名古屋事務所が企画する木曽国有林見学会「赤沢自然休養林」にでかける事前研修のとき、講師になった職員さんが言われた言葉です。「林野」一月号に興味深い記事がありました。木材にあるリグニンを取り出し、プラスチックと同性質の改質リグニンが、作り出されたと言うのです。熱に強く加工しやすいという強みばかりか、天然素材のため環境中に分解され、問題になっている海洋汚染もないとのことでした。木材生産を主とする産業界が、新しい産業界への転換を示唆する記事です。林産業に携わる皆さんには、現状を抜けて新産業界の担い手としての期待をするばかりです。
- ・ これからも広報等の冊子を通じて、今伝えていきたいことをより分かりやすく、より詳しく載せて情報を発信して欲しいと思います。
- ・ よく名古屋事務所から、木曽方面や長野方面に見学に行くイベントがあるのですが、東濃方面からも参加できるようなイベントがあるといいです。
- ・ 実際業者やボランティアが森林で活動されている現場を拝見したいと思います。
- ・ モニターになって色々勉強になっています。いつもいろいろな情報ありがとうございます。
- ・ これからもこのような活動をもっと広めてほしいです。
- ・ 都市部で生活している一般国民は森林管理局の存在すら承知しておらず、加えて事業内容に至っては全く把握していないと思料しています。

趣味で山登りをする人、夏休みにキャンプで訪れる若者・家族、蝶やキノコなどに関心の深い人、など一部の国民は国有林と接する機会があるかと思いますが、そのほかの一般の人達は国有林の機能や役割を理解していません。ましてや森林官の皆さんが日々どのような業務を推進され、どんな課題を抱えているのかも解りませんでした。まずは森林管理局という事業所を広く国民に知ってもらうことが必要ではないかと感じています。
- ・ この1年、これまで接する機会がなかった国有林について、奥の情報に触れることができました。特に10月末のモニター会議(現地視察)では現地で直接学ぶことができました。「百聞は一見に如かず」で、有意義な経験でした。このような機会に恵まれたことに感謝すると共に、年間2~3回あるとさらに理解が深まると思いました。担当して下さった方々、ありがとうございました。